



“きらり まちなかアート” 障害のある若者が地域社会とつながる

## 南奈良総合医療センターで常設展示スタート！

12/15 南奈良総合医療センター（吉野郡大淀町福神） 【主催】NPO法人ならチャレンジド



堀口陽子看護部長（左）、杉山孝南和広域医療企業団企業長（中央）、松本昌美院長（右）

【作品】「希望の花」

今西芽さん（19歳、天川村）

「色とりどりの野菜たち」

上東芳暢さん（18歳、五條市）

「招杜羅大将」

井上真介さん（31歳、宇陀市）

【場所】4階、5階病棟エレベータホール \*感染症対策で外部から見学できません

患者さん、医療スタッフと障害のある若者の交流を願い、新たに南和地域の拠点として南奈良総合医療センター（大淀町）で“きらり まちなかアート”が始まりました。当医療センターは職場実習を積極的に行ない、現在、高等養護学校卒業生2名が看護補助業務に就労し活躍しています。

杉山孝南和広域医療企業団企業長、松本昌美南奈良総合医療センター院長、堀口陽子看護部長らは3名の作者をあたたかく迎え入れ、きらりまちなかアートのスタート式が行われました。

杉山企業長は「この病院をはじめ3病院で障害のある先輩が働いています。絵の展示を通じて、患者さんに喜んでいただき、地域社会の理解が深まるように願っています」。松本院長は「患者さんの癒しになることを期待しています。コロナ最前線でがんばっている我々職員の励みになればと思います」と、ご挨拶されました。

今西芽さん、上東芳暢さん、井上真介さんはそれぞれ作品の説明を行ない、その後、杉山企業長、松本院長、堀口看護部長らと懇談し交流を深めました。

県立大淀養護学校長、県教育委員会特別支援教育推進室指導主事も同席されました。

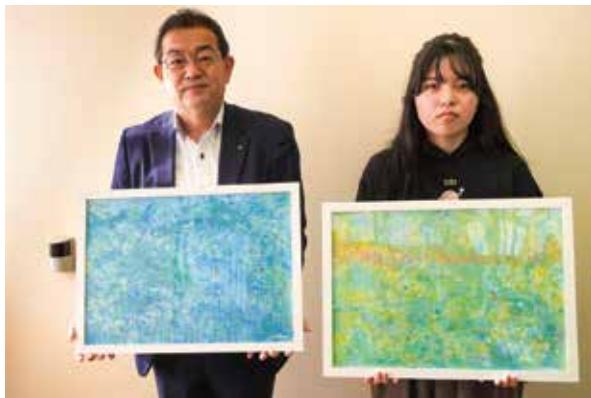
## “きらり まちなかアート” ~常設展示~

3月中旬、作品を入れ替えます

### 南都銀行富雄支店

12/13 近鉄富雄駅前

【出展者】濱美華さん（生駒市、19歳）



濱美華さんは作品2点を持参して南都銀行富雄支店を訪れ、筒井義和支店長へ作品説明しました。やさしい色あいの水彩画です。「お花畠」「鳥の群れ」が表現されています。

### 道の駅レスティ唐古・鍵

12/26

3階展望室（田原本町国道24号線沿い）

【出展者】「奈良交通のバス第2弾！」

祭原良介さん（19歳、三郷町）

「クジラ姫」

吹井充さん（29歳、宇陀市）

「日本の恐竜」

坂元陽介さん（24歳、生駒市）



祭原良介さん、吹井充さん、坂元陽介さんは道の駅レスティ唐古・鍵を訪れ、川合信行駅長（奈良交通）へ作品説明しました。個性があふれた作品です。作者が好きで描いていることが伝わります。

### 奈良中央信用金庫高田支店

12/15

大和高田市磯野新町

【出展者】村嶋清志さん（36歳、大和高田市）

上東芳暢さん（18歳、五條市）



奈良中央信用金庫は二上支店（香芝市）から場所を変え、高田支店で今後1年間、開催します。村嶋清志さんは作品4点、上東芳暢さんは作品3点を持参し、池田剛士高田支店長と懇談しました。

16年ぶりの再会！

## 岸本亜矢子さんが福岡憲宏香芝市長を表敬訪問

12/12

【訪問者】岸本亜矢子さん（31歳、香芝市）



実に16年ぶりの再会！

岸本亜矢子さんが中学3年の受験勉強の際、学習塾の先生でお世話になった福岡憲宏市長。

福岡市長は「感動しています！ 岸本さんの後輩からいろいろなことを聞き、とても心配していました。最近、元気に創作活動されており、とてもうれしく思っています」と、感極まった語り口で岸本さんをあたたかく迎えてくださいました。



岸本さんデザインのカレンダー

「教えるのが上手でとてもわかりやすかったです。お陰で国語、英語はいい成績でした。」「数学は苦手で全然ダメでしたが（笑）」と岸本さん。

福岡市長は岸本さんがデザインされたカレンダー、奈良中央信用金庫キャッシュカード・通帳、県人権メッセージ集をご覧になり、「かわいいな。あったかい作品ですね」と話されました。

岸本さんが「イラストを地元香芝市で活用していただきたい」とお願いすると、福岡市長は「是非とも実現するように前向きに検討します」と返答されました。

今、新たな展開が始まります。

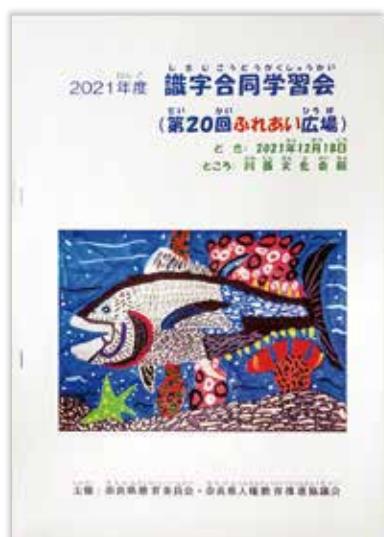
## 2021年度 識字合同学習会の表紙絵

12/18 川西文化会館

【表紙絵】「まぐろ」上東芳暢さん（大淀養護学校卒、18歳）

【主 催】奈良県教育委員会、奈良県人権教育推進協議会

「キラリと輝く！特別支援学校アート展」を始めて以来、9年間にわたり、出展作品から識字合同学習会の表紙絵に採用されています。



# ～結婚、出産、子育て～ Tさん(高等養護学校卒)のレポート

～ならチャレンジドひまわり 12月例会～ 12/5 すみれホール

【報告】Tさん (結婚し夫婦共働きしながら子育て奮闘中)

吉田丈夫さん (生活支援センター「しぇーく」元支援員。以和貴会 通所支援課 管理課長)

中村壽江さん (介護やオンライン ケアマネージャー)

青木悠加さん (就業生活支援センター ブリッジ元支援員)



## 結婚 → 出産 → 子育てへ

Tさんは高等養護学校2年生のとき、香芝冬彩ボランティアで夫（高等養護学校卒）と出会い、つきあいが始まる。卒業後、飲食関係へ就労するが、妊娠し退職。結婚後19歳で母となり、夫の実家で3ヶ月過ごし、体調を整えてからハイツへ引っ越して3人の生活をスタート。

「困ったことは、赤ちゃんの病気（熱が出る）や暑い、寒い（水分補給、体温調節）に気づかず、朝や夕に見守りに来てくれる夫の母に教えてもらっていました」「サービス利用後は夕方のヘルパーさんから料理、掃除の支援を受けました」「子どもが1歳になり保育園へ預けパートで働き始めました」「小学生になり周りの支援を受けながら、学童保育への申し込み等をしました」「今後の課題は“宿題を教える”“先生との懇談”が不安です」「子どもの将来の夢は“小学校の先生”なので、応援するために一生懸命、働いて貯金をしたいです」「後輩のみなさん、結婚は大変なこともいっぱいあるけど、いっぱい楽しいこともあります」



## 相談機関、生活支援、就労機関が“チーム”で支援！

「自立した3人の生活を！」本人、親の強い思いでハイツの暮らしがスターしました。

相談業務の吉田丈夫さんは「これは本気だ！生活支援（ヘルパー）、就労支援と“チーム”をつくり、できることを探りました」「困ったことは声に出してください。必ず支援の輪が動きます」と話しました。

ヘルパーの中村壽江さんは「Tさんは最初、料理も洗濯も苦手でした。根気よく一緒にできることから始めました」「今では立派に母親となり、娘さんが大きくなった写真を見て、感動しています」。



就労支援の青木悠加さんは「働きたいTさんの願いを実現するために、一緒にハローワークへ行きました。私も、結婚して初めてTさんの苦労がわかりました」「ひとりで悩まないで、誰かに相談してください」。

本人の強い思いが地域の支援者を動かし、“ワンチーム”として強力な支援態勢ができました。障害をもっていても、あきらめないで自分の夢（例えば結婚、出産）にむかって実現していってください。

- ・私も結婚したいけど、なんだか不安。話を聞いて、感動して泣けてきました。
- ・Tさんの話を聞いて、娘も生活していく、大丈夫と思いました。良き理解者が周りにいると安心して生活できますね。親として助けが必要なことは何かを考えて、応援者になろうと思います。

ひまわり例会 ・4/3 (日) 9時30分～11時30分 ・すみれホール (ハ木駅南へ徒歩3分)

【報告】副リーダー 野畠晴華さん (エバーグリーン神楽店)

\*参加希望者は電話で申し込んでください ならチャレンジド 0746-32-3600

# ～みんなで守るいのち～ 難病克服支援 M B T 映画祭

1/8 県橿原文化会館大ホール

【受付】ならチャレンジド 【主催】奈良県立医科大学、一般社団法人M B Tコンソーシアム



細井裕司県立医科大学理事長・学長（右から2人目）

「みんなで守る命」をテーマとする短編映画(30分以内)が全国から48本応募があり、当日、入賞作品10本が上映されました。最優秀賞は、車いすを利用する若者が喫茶店入店を拒否される暮らしの不合理、差別を訴えた「バリアフルライフ」が選ばれました。

ならチャレンジド2名は医大職員さんと一緒に受付係をさせていただきました。



## 中嶋彩翔さんが理事長表彰 ~医療法人弘仁会・南和病院(大淀町)~

【表彰】中嶋彩翔さん(看護補助、県立高等養護学校卒) 12/29



表彰される中嶋彩翔さん



和田信弘理事長・病院長(中央)

医療法人弘仁会・南和病院(和田信弘理事長・病院長)の仕事納め式で、中嶋彩翔さんは仕事を丁寧に確実に行い、職場の雰囲気の向上に貢献されたことが評価され、理事長表彰されました。おめでとうございます。

中嶋さんは県立高等養護学校を卒業後、昨年4月から同病院の看護補助業務に就労しています。中嶋さんは「来年も頑張ります」と決意を話しました。

# 2021年度 識字合同学習会

12/18 川西文化会館

【司会】高等養護学校1年生2名

【受付】高等養護学校1年生

【主催】奈良県教育委員会、奈良県人権教育推進協議会



「生徒たちの司会はよかったです。今後も続けてほしい」と参加者の感想が寄せられています。

## con brio コンサート

12/4 県檍原文化会館大ホール

【受付】ならチャレンジドひまわり2名



インドネシア民族楽器「アンクルン」(竹製)の音色に感激し、うっとりしました。

con brioさんは大淀、明日香、高等養護学校卒業生が集まり、檍原市内で練習をしています。

## ならチャレンジドひまわり「節分会」

2/6 すみれホール



ひまわりリーダー、副リーダーが軸になり計画、買い物、進行を行ない、17名のメンバーはジャンケンゲーム、しりとり等で節分会を楽しみました。「福はうち、鬼もうち、みんな仲良し！」

# 毎月 11 日は「人権を確かめ合う日」県民の集い第 18 回シンポジウム 誰ひとり取り残さない社会をめざして

## ～人権のまちづくりを進めよう～

【コーディネーター】

高松秀憲さん（奈良県人権擁護委員連合会 会長）

【パネリスト】

富田忠一さん（社会福祉法人ちいろば会 統括管理者）

赤川義之（NPO 法人ならチャレンジド理事長）

安田賢行さん（公益財団法人反差別・人権研究所みえ研究員）

【主催】市町村人権・同和問題「啓発連携」 11/26 収録

### NPO 法人ならチャレンジド理事長 赤川義之

私はビルメンテナンス会社の経営者をしています。30 数年前、初めて高等養護学校の卒業生を雇用しました。人が見ていなくても一生懸命働く若者の姿に心を動かされました。また

若者は言うことと行動が一緒なのでとてもわかりやすく、気持ちが楽でした。

2010 年 NPO 法人ならチャレンジドを立ち上げました。100 % ボランティアで活動を続けています。県立特別支援学校と地域社会を繋ぐ「橋渡し役」です。

### 社会参加活動 成功体験を積み重ね、自己肯定感の獲得

2011 年 7 月「差別をなくす強調月間」の市町村民集会で、初めて特別支援学校の生徒たちが受付係として参加しました。どの生徒も自分が人の役に立ったことを喜び、生まれて初めて人から「ありがとう」と言われた生徒もいました。受け入れ側の担当者も、「来場者が生徒に声をかけるなど、やさしい雰囲気になりとても良かった」と喜ばれました。

私は「これだ！」と確信しました。生徒の社会参加が生徒自身と社会を変えていくのです。

### 受け入れ側の協力で就労現場が拡がる

就労では、県内の代表的企業や市町村の図書館、保育園、病院等で職場実習を始めました。看護師さんは生徒の実情に応じた対応をしてくださいました。おかげで今、県立医科大学附属病院の 38 名をはじめ、県内の医療機関では約 60 名の障害のある若者が働き、どの現場でも貴重な戦力として活躍されています。

当然、本人の頑張りもありますが、就労成功の鍵は受け入れ側の力量にかかっています。

### しんどい思いをしているのは誰？ 思いを言える関係性の構築を！

私は部落解放運動にかかる中から、「しんどい思いをしている人の立場から社会を見てみよう」「現象面だけを見るのではなく、その背景の課題を探ることが大切」という二つを学びました。

この 4 月～6 月にかけて、県内 11 市町の図書館で知的障害者の命を脅かす差別文書が見つかりました。この差別文書を書いた若者 A さんはなぜこのような行為をしたのでしょうか。私は障害があると思われる若者 A さんが、自分の居場所がなく誰かに訴えたい、そんな悲痛な SOS だと受け止めています。望む支援が受けられず、孤立してきた A さんの姿を想像しています。しんどい思いをしている A さんと向き合い、一緒に考えていくことが今回の課題であると考えています。

私たち一人ひとりが、障害のある若者、しんどい思いをしている人たちと「本音」でかかわり、そのありのままの姿に共感することから始まります。そこから信頼関係が生まれ、本当の思いを言える関係が生まれるのであります。私たちが、障害のある若者、しんどい思いをしている人の願いを聴けるように変わらなければなりません。それが、誰ひとり取り残されない社会に向けた第一歩だと思います。

# 中西和夫斑鳩町長表敬訪問

## ～第41回アビリンピック銅賞を報告～

【訪問者】富岡翔選手（県立高等養護学校3年）

2月8日、富岡翔選手は地元・斑鳩町役場に中西和夫町長を表敬訪問し、銅賞受賞を報告しました。

中西町長から「おめでとうございます。今後、社会人になっても今の気持ちを忘れず、サッカー、仕事にがんばってください」とお祝いのお言葉をいただきました。



# 祝 富岡翔選手（県立高等養護学校3年）銅賞！

## ～第41回アビリンピック ビルクリーニング種目～ 1/17 県立高等養護学校

【祝福】奈良県ビルメンテナンス協会

森脇大統/アスカ美装(株)代表取締役  
赤川義之/(株)シティサービス代表取締役

向井大介/天理建物管理(株)代表取締役  
赤川友介/同マネージャー



講師から花束を贈られる富岡選手



富岡翔選手、校長、担任教諭（前列）、講師4名（後列）

去る12月17日～20日、東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催された第41回アビリンピック（全国障害者技能競技大会）に県代表として出場した富岡翔選手（18歳）が堂々と銅賞に輝きました。おめでとうございます。

奈良県ビルメンテナンス協会のアスカ美装(株)、天理建物管理(株)、(株)シティサービスの代表者等は講師になり、大会に向けて作業手順を細かく教える特別講習を行ってきました。4名の講師たちは銅賞の朗報を受け、高等養護学校に富岡選手の祝福に駆け付けました。

講師から富岡選手へ花束を渡し、講師一人ひとりがお祝いの言葉を述べました。富岡選手は「努力した結果、銅賞をとれ自信になりました」「これから卒業して仕事、サッカーなどいろいろなことに挑戦していきます」「知的障害者サッカーやフットサルの日本代表になり、世界大会へ出場することが目標です」と力強く決意を語りました。

富岡選手は1月、フットサル日本代表候補の合宿に参加しました。今後の活躍を応援します。

